大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows

CPP2020 ガイダンス

自己紹介

人事部　採用担当

板倉　朋宏

2004年 4月 大日本住友製薬入社
研究本部 所属

・泌尿器（過活動膀胱）
・循環器（高血圧）
・消化器（過敏性腸症候群）
・がん（がん悪液質）
・疼痛（神経障害性疼痛）

多岐にわたる創薬研究に従事

2015年 12月 人事部に異動
（採用・人材育成担当）
在に至る

ガイダンス内容

Ⅰ．海外博士人材のニーズ

Ⅱ．当社概要ハイライト

Ⅲ．募集要項

海外博士人材のニーズ

―大日本住友製薬の想い―

当社は優秀な海外博士人材が、
アカデミアのみならず、
企業研究で大きな成果を
上げると信じている。

海外博士人材採用実績

Ⅰ．CPP@BOSTONでは、2015年3名、
2016年1名、2017年2名を連続して採用
（2019年は2名内定⇒2020年入社予定）。

Ⅱ．入社後も高い評価で研究員として活躍。
（※公開中ムービーにて、海外から入社した研究員を紹介！）

※近年の新卒採用では、研究者の60％以上が博士。
キャリア採用ではほぼ全員が博士。

企業から見た・・・
アカデミアと企業研究の違い

大日本住友製薬

1 専門の異なる研究者との連携の密度

医薬品は、薬理学、生物学、薬物動態学、毒性学、有機化学などの複数領域にまたがる高度な製品であり、連携なしに良いテーマは育たない

2 基礎と応用

《アカデミア》

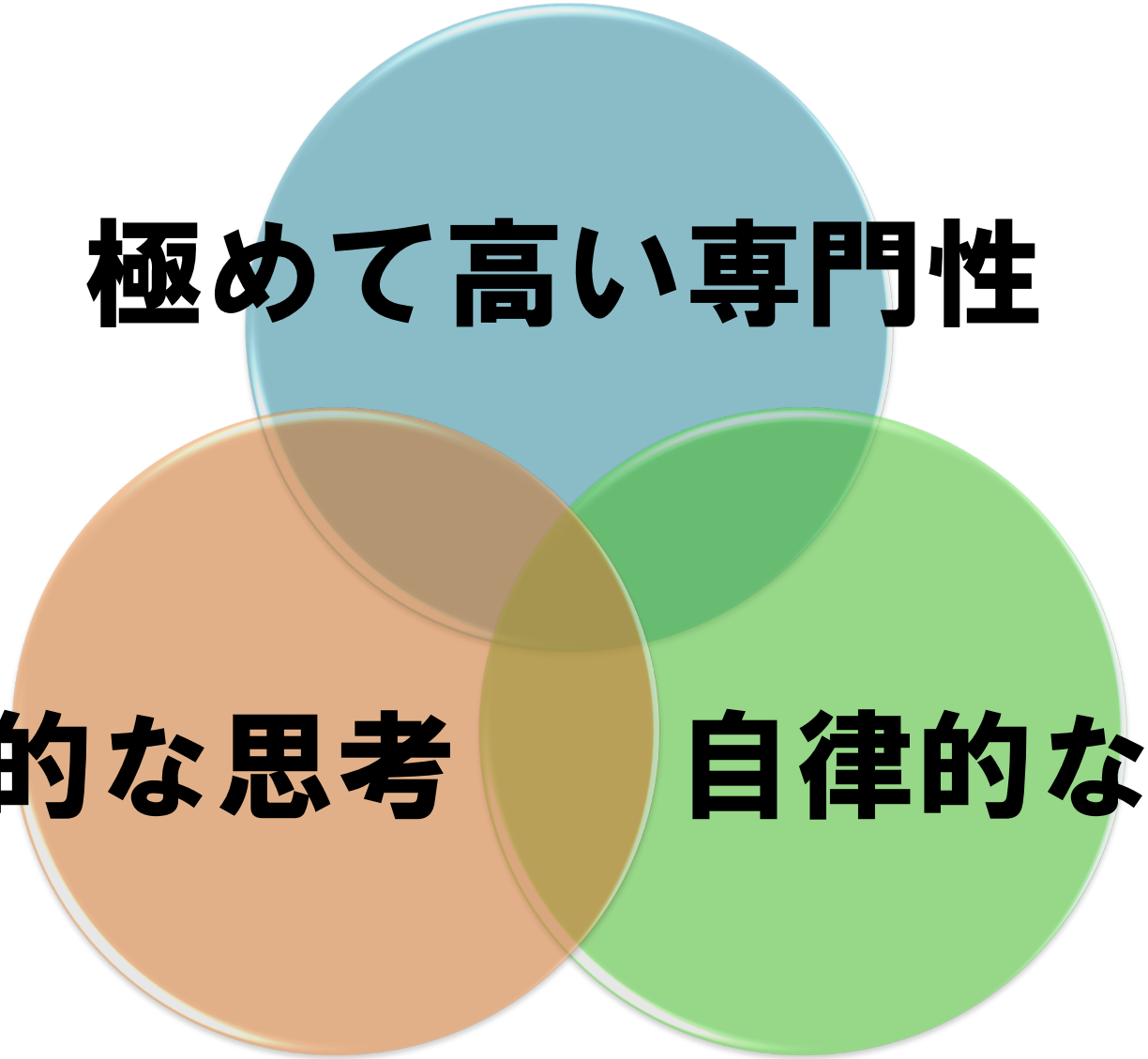
真理の追究、詳細なメカニズムの解明と
まったく新しい概念の提唱

《企業》

科学的価値の社会還元
いかに良い製品を、いかに早く仕上げるか

海外博士人材に期待すること

大日本住友製薬



人々への貢献

モノづくりへの熱意

専門性の社会還元

当社概要ハイライト

※詳細は後日の会社説明にて

大日本住友製薬は、自ら新薬を創出します！

目指す姿
グローバル
スペシャライズド
プレイヤー

海外売上高比率
64%（業界3位）

売上高における
研究開発費比率
22%（業界2位）

自由度の高い
風土

若手の挑戦
を奨励

やりがい
新薬を
自らの手で創出し、
世界中の人々の
健康に貢献できる

当社の研究開発方針

詳細は
会社説明
にて

大日本住友製薬

アンメット・メディカル・ニーズの高い領域を重点領域とし、
革新的な新薬の創出に全力を注ぐ

重点領域

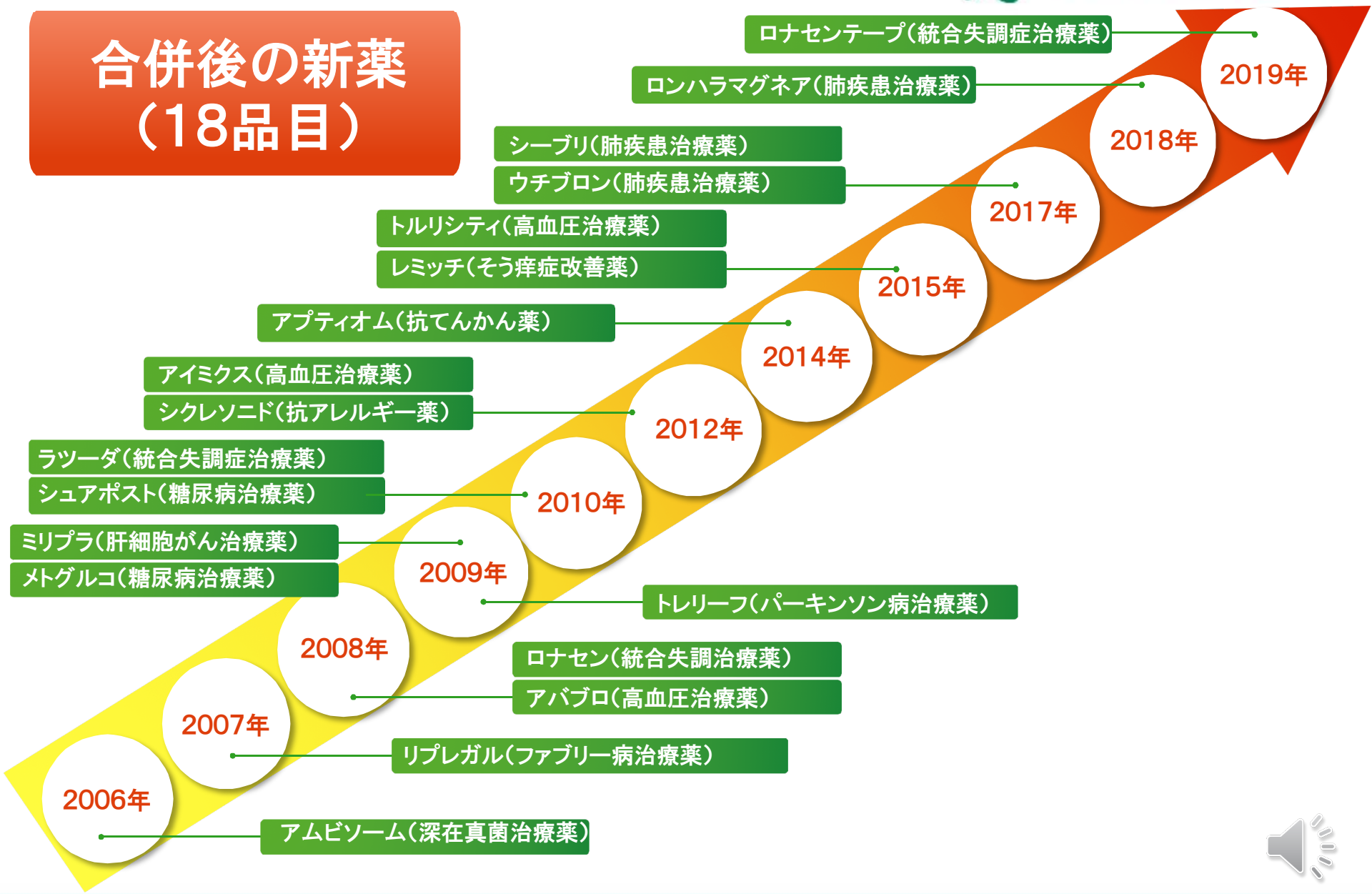
- 精神神経領域
- がん領域
- 再生・細胞医薬分野

* アンメット・メディカル・ニーズ：
いまだ満たされていない医療ニーズ、つまり、いまだ有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズのこと

新製品の継続的上市（合併後）

大日本住友製薬

合併後の新薬（18品目）



募集要項

募集要件

経歴

- 国内外の大学院博士後期課程を修了。
- アカデミアもしくは製薬企業等にて専門的な研究を継続し、概ね15年以内の研究歴を有する方

1.＜精神神経領域の薬効薬理研究に従事する研究員＞

（ア）　病態モデル動物や神経系細胞の培養技術を活用した、病態メカニズム研究や薬効・薬理研究、または
（イ）　バイオマーカー探索を含むトランスレーショナル研究に従事

2.＜インシリコ創薬研究に従事する研究員＞

（ア）　主に分子動力学シミュレーションを駆使した標的蛋白質に対する薬物候補分子の創出、
（イ）　社内外における多種かつ大量の既知実験データに基づく特定の疾患に効果的な薬剤標的あるいはメカニズムのマイニング、
（ウ）　細胞シミュレーションによるマーカー・メカニズム検証やフェノタイプ予測等の研究に従事

3.＜探索合成研究に従事する研究員＞

低分子やペプチド、核酸等、医薬品候補の探索合成研究に従事

4.＜がん領域創薬研究に従事する研究員＞

（ア）　ヒトのがん微小環境を意識した各種病態モデル等を用いたがん病態生理解　析、がん治療薬の薬効薬理評価やメカニズム解析に従事
（イ）　臨床応用を意識したバイオマーカー探索を含むトランスレーショナル研究に従事

5.＜再生医療の実用化を目指した研究開発に従事＞

（ア）　再生医療の実用化を目指して、多能性幹細胞の目的細胞・組織への分化誘導や立体臓器構築に関する研究、関連する薬理実験、細胞特性解析などの研究に従事
（イ）　各種規制に則った細胞製品の製造システムの開発、構築に従事
（ウ）　その他、広く再生医療を普及させるために必要なトランスレーショナル研究に従事

※上記以外の研究に従事されている方に関してもご応募を受け付けております。面談にて研究内容や研究成果に関してお聞きし、ご自身の専門性を最も生かせるポジションを弊社から提示させて頂くことがございます。

当社研究所の雰囲気

大日本住友製薬

※若手社員談

CPP@BOSTONで感じた点

- 海外博士人材採用への意気込みの高さ
- 自由度が高い研究風土・環境
- 個人（人物、研究）をとてもよく見ている

入社後感じた点

- 自由度が高い研究風土・環境
- 役職および年齢の壁がなく、ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ重視の風土
- 国内外の学会に若手研究員が積極的に参加
- 大阪中心部の研究所で、ｱｶﾃﾞﾐｱとの共同研究が盛ん

メッセージ

大日本住友製薬

私達は「 Innovation today, healthier tomorrows 」
というｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾛｰｶﾞﾝのもと、**革新的な新薬の創出**
に向け、日々の業務に取り組んでいます。

私達は、**挑戦**、**最先端技術**、**グローバル化**をｷｰﾜｰﾄﾞ
に今後さらにｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟしていく段階を迎えています

自身の成長と会社の成長を一緒にしていきたい、
という**意欲的な方**をお待ちしています！

大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows

より詳細を知りたい方はWebサイトへ